



ISOだより



第115号

平成25年11月10日

発行元：教育委員会

第16回院内研究発表会「ワンダフルパワー」実施結果

私達は、病院の理念のひとつ『探究心』を持って日々の業務を実践しています。院内各部署・各職種による研究発表を通して、お互いに触発し、学び合う事をテーマに、今年も院内研究発表会（ワンダフルパワー）を10月19日に開催しました。口説・示説合わせて21演題と、歯科の鈴木克年医師の特別講演もあり、活発な質疑応答が行われました。8つの賞に加えて『院長賞』という特別賞があり、例年、それらの受賞を1つの目標に、競い合っています。



職員同士の繋いだ「手」が
明日に向かって探究心の
花を大きく咲かせます。

院長賞

今年は・・・A4F!

『働きやすい環境を目指して

～医療現場におけるバーンアウトの実際～』

受賞した演題

口説

ワンダフル賞（総合的に優れている）・・・栄養課

『経腸栄養剤を見直した事による成果』

Goodプレゼン賞（発表が優れている）・・・事務部

『医師事務作業補助の取り組み』

アイデア賞（着目点が良い）・・・外来

『外来待ち時間への工夫』

見習いま賞（患者、病院、職員に良い影響を与えた）・・・秘書

『クールビズで職員満足アップ』

技能賞（専門的能力が優れている）・・・A3F

『効果的なウーニング開始基準』

チームワーク賞（チームワークが優れている）・・・BC3F

『療養棟ならではのケア“力”口臭よさらば!!』

示説

デザイン賞（デザインが良い）・・・リハビリテーション課

『寝たきり患者様の腸活動の改善について』

パワー賞（影響力、集団力が優れている）・・・BC2F

『高齢患者の皮膚損傷を防止する取り組み - 安全重視を考えた職員の意識づけ - 』